

## ATS

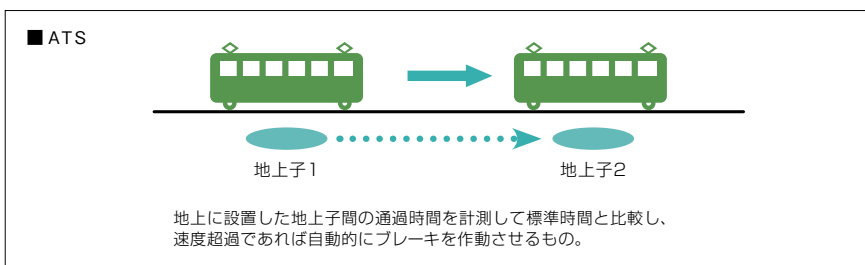
ATS(自動列車停止装置)システムは、列車を停止信号までに停止させ、他列車との衝突を防止したり、急曲線や急勾配での速度超過防止を目的としています。決められた速度以上で通過すると強制的に非常ブレーキをかける安全装置です。

平成17年に発生したJR西日本福知山線列車脱線事故を受け、国土交通省から速度超過防止用ATSなどの緊急整備に関する通達、およびその後のダイヤ改正に伴う速度向上により、曲線用速度超過防止ATSは京阪線3カ所、大津線1カ所

に設置しています。なお、通達の基準には該当しないものさらに京阪線7カ所、大津線6カ所にATSを自主設置し、安全を確保しています。

平成18年に公布・施行された鉄道に関する技術基準を改正する省令では、曲線以外にも分岐器など重要な事故を起こす恐れのある箇所への速度を制限する装置の設置を義務づけており、その設置は平成20年度にすべて完了しました。

今後、より一層の安全性向上に向け、システムの全面更新を計画しており、平成28年度までに京阪線全線での稼働を目指しています。

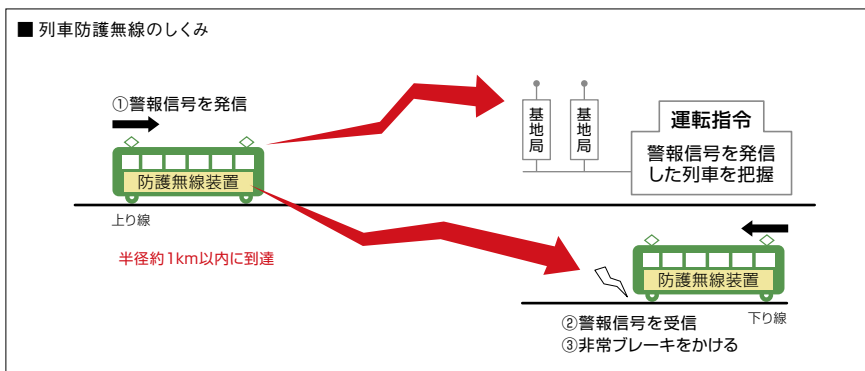


## 列車防護無線

脱線事故などの緊急時、乗務員の操作により列車から電波を発信し、周囲約1km以内にある列車に緊急事態の発生を通

知して列車の停止を義務づけ、二次災害を防止するための装置です。

平成24年度中に全編成への設置を完了させるため、平成21年1月より設置を開始しました。



## 駅誤通過防止装置

停車駅の誤認を防ぐため、接近する列車の種別により、駅手前に設置した表示灯に「停」または「通」の文字を表示するとともに、ATSと連動させ停車列車の駅誤通過を防止する装置で、京阪線の9駅に設置しています。



▲駅誤通過防止装置

## 作業用列車接近報知器

線路内で保守や工事を行っている作業員に、ランプの消灯と警報ブザーにより列車の接近を知らせる装置です。京阪線に550カ所以上設置されており、保守作業員の安全確保に寄与しています。



▲作業用列車接近報知器

## 京阪線自律分散式列車運行管理システム(ADEC)

当社では、駅の信号機やポイント、行先表示器、案内放送などをダイヤ情報に基づき自動的に制御を行う列車運行管理システム(ADEC)を導入しています。これにより、列車運行の定時性と正確性が保たれています。

京阪線では、運転指令所に中央制御装置を各信号取扱駅に駅制御装置を分散配置し、二重の光ファイバーでループ状に接続することで、障害が発生してもその範囲を最小限にとどめることができる信頼性の高いものとなっています。

平成19年には、さらなる信頼性向上と円滑な運行管理を目的とし、大規模なシステム更新を行いました。指令員の操作性向上や案内放送の充実など、従来システムより大幅に機能が向上しました。



▲列車運行管理システム(ADEC)